

広域シルバー まつもと

第121号

令和7年7月15日号

(公社)松本地域シルバー人材センター

会報編集委員会

松本市宮渕本村1番10号

TEL 39-6680 FAX 39-7788

URL: <https://matsumoto-sjc.jp/>

E-mail: matumoto@sjc.ne.jp



特集 安全・適正就業の推進



令和7年度定時総会開催 新理事・監事を承認

令和7年5月27日
於・松本市音楽文化ホール

制度改正への対応

事故防止の徹底を

青木理事長あいさつ

ここ数年の間に、シルバー人材センターの運営に大きく影響する法律改正や、制度の改正がいくつかございました。

そのひとつはインボイス制度であり、支出する必要がなかった消費税の支払い義務が生じました。また、昨年11月からフリーランス法が施行され、そのために必要な手続きの電子化を進めてまいりました。

もう一つは包括的契約方法への移行です。消費税の負担が大幅に軽減されますが、一方で会計上の数字が大きく変わります。

令和6年度の経常収益は約7億9千7百万円ですが、7年度の予算では経常収益は約3億8千5百万円で約半分になっています。一見すると松本地域シルバーの事業規模が半減したかのように見えますが、これは発注者からいただく配分金については、センターが仲介の業務をするだけで、センターの会計には入らないからです。

令和7年度は制度上大きな変革の年になると言うことは是非、記憶に留めていただきたいと思います。

以上が制度上のことですが、当センターでは非常に大きな問題が発生しています。それは事故が多発して、損害賠償保険の契約を保険会社から断られるという事態にいたったことです。幸い他の保険会社と契約ができましたが、保険に加入できなければ、皆さんも就業ができないことになります。

この一番の原因は、草刈り機による飛び石により、近くの車や家のガラスなどを破損した事故が非

常に多かったためです。

全国的にもこの種の事故はなかなか減少しないという状況にあるのは事実ですが、当センターは中でも突出しています。この事故件数を減らすということは喫緊の課題であり、最優先で取り組んでまいりたいと考えています。



総会議長を務めていただいた会員互助会会長の新田利子さん。女性議長は6年ぶりとなります。円滑な議事運営をしていただき、議長退任の際は会場から大きな拍手が起こりました。

令和6年度事業実績

1. 会員登録数

◆会員数 1,492人
前年比 ▲36人

2. 就業実績

◆契約金額 8億3,006万円
前年比+1,903万円 +2.3%
◆契約件数 4,573件
前年比+71件 +1.6%
◆就業延人員 152,667人日
前年比 ▲4,620人 ▲2.9%

令和6年度収支決算

●経常収益計

7億9,734万4,777円

●経常費用計

7億9,524万3,443円

●当期経常増減額

210万1,334円

会員業績功労表彰(敬称略)		募集活動功労表彰(敬称略)	
青柳 利政	高橋 良子	瀧澤 淳子	古畑 隆雄
河合 深雪	片桐 由子		
塚家 豊	高見沢 晃		
古澤 等	腰原 智子		
佐藤 章	小西 一裕		
真保 幸造	水野富美子		
伊藤 泰範	島田 哲男		
上松英美子	横川 渡		
森口 直次	山口 勇		
山本 正	神部 邦郎		
大月 憲良	矢口 昇		
上條 一雄			

定時総会の席上、就業実績の他、奉仕活動、地区懇談会にも積極的に参加されるなど、会員としてセンター事業の発展に寄与し、その業績が顕著な方23名と、新規会員を2人以上紹介いただいた2名の方々が表彰されました。

表彰おめでとう
ごいいます

会員業績功労表彰 受賞の喜び



高橋 良子さん(鎌田)

シルバーに入会以来、長年にわたりシルバーショップ「えがお」のスタッフとしてがんばっています。

お客様とのふれあい、何気ない会話の中からたくさんの「笑顔」をいただいています。また、趣味の手づくり品を買ってくださるお客様がいることも大きな励みです。

「えがお」のおかげで楽しく充実したシルバーライフを送っています。

この度は、表彰いただきありがとうございました。



表彰式



謝辞・小西一裕さん



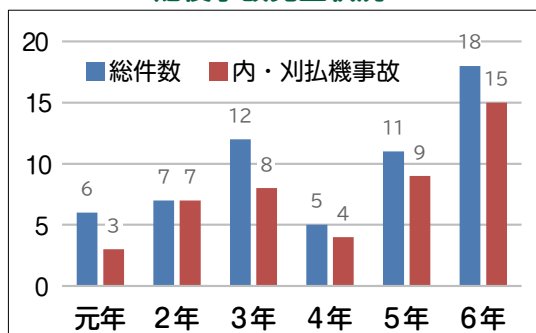
表彰式に出席された皆さん

新役員体制 理事18名 監事2名

【理事】		青木 敏和		【副理事長】		櫻井 貞文		【専務理事・事務局長】		平林 泉		【理事】		赤羽 隆		赤羽 勝		新井 瑞穂		市川 豊春		市原富美敏		加藤 琢江		草間 直次		篠原 雅彦		多田井健治		西牧 健史		東山 厚生		古畑 重夫		水橋 文雄		矢田 順二		渡辺 孝		【監事】		中沼 博史		平沢 昭久																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			

特集 ■ 安全・適正就業の推進

<賠償事故発生状況>



6年度の除草中の飛び石等の事故による賠償は200万円を超える金額となりました。

安全委員会では、会員の皆さんが健康で安心して就業できるよう、安全意識の徹底と事故防止の安全対策に全力で取り組んでいます。

さて、左のグラフのとおり作業中の賠償事故は近年、右肩上がりの傾向にあります。



安全委員長
水橋 文雄

事故ゼロを目指して

安全は無理せず 焦らず 油断せず (全国統一スローガン)

7月は「安全・適正就業」強化月間

増加傾向にあり、特に昨年は刈払機の飛び石による損害賠償事故が多発し、シルバー事業継続に支障が生じかねない事態となりました。

また、過去5年間で会員の就業に関連した交通事故は7件、転倒・転落等の事故は23件、このほか蜂刺されや切創など多数の傷害事故も発生しています。

安全委員会では、事故ゼロを目指して取り組んでまいりますので、会員の皆さんのご協力をお願いします。

事故防止のために



○除草・剪定等の作業

- ・作業場所の安全の確認（危険な場所では作業をしない）
- ・作業に適した保護具を正しく着用する
- ・除草は高刈りを徹底
- ・民家や車の近くでは、必ず防護ネットを使用
- ・飛び石防止機器の使用

- ・ナイロンコードは使用禁止
- ・5m以上の高木は剪定しない
- ・梯子、脚立は安定した場所に設置してヘルメット、安全帯を使用

○作業全般

- ・危険予知を常に心がける
- ・体調管理に気を使い、体調不良の時は無理に作業をしない
- ・複数人での作業（事故の重大化を防ぐため）
- ・就業途上における交通事故防止

熱中症を防ごう



これから夏本番を迎えます。いつでも、どこでも、誰でも、条件次第でかかりやすいのが熱中症です。きちんと予防対策をして暑い夏を乗り切りましょう。

○熱中症予防3つのポイント

- ・水分・塩分はこまめに補給しましょう
 - ・涼しいところで休憩を
 - ・「おかしいな？」と思ったら、すぐに周りの人に知らせましょう
- ※熱中症は本年度からシルバー傷害保険の対象です。通院・入院等には保険金が支払われます

飛び石防止機器を特別価格で斡旋

無双ツインブレード

石跳ね、キックバックを抑えた刈払機のアタッチメントです。除草作業会員を対象に定価の3割程度の価格で斡旋し、事故防止を推進しています。

■特別斡旋価格 9,000円

飛び石防止の刈り刃 - 石トバサズ

■特別斡旋価格 600円



<令和6年度事故発生状況> ※6年度は前年比+6件の大幅増

種類	主な事故の内容	件数
負傷(傷害)	・チェーンソーのキックバックで左手甲を負傷 ・除草作業中の蜂刺され 2件 ・剪定作業時、三脚を引き上げた際、肩を脱臼した ・除草中、手持ちの鎌で左手手指の付け根を切傷 ・施設巡回中、積雪により足を滑らせ背中・腰を強打	10件(1件減)
物損(賠償)	・18件中、15件が刈払機による飛び石事故 ・除草作業中に、隣家の窓ガラス、車のリアガラスを破損。飛び石防止の安全措置も怠り作業 この他多数 ・三脚を移動の際、ポリカーボネート製の底を破損 ・除草作業中、給湯器の配水管に刈払機の刃を当てて傷つけてしまい漏水	18件(7件増)

特集 ■ 安全・適正就業の推進

表紙の写真・刈払機実技講習会

5月12日にセンター西側芝生広場で初級者を対象として刈払機の実技講習会を実施し、16名の会員が参加しました。

飛び石防止機器のツインブレードや石トバサース装着の刈払機を使用し、草刈りを全員に体験してもらい、安全意識を高めました。



《長野県シルバー人材センター連合会》

令和7年度「安全・適正就業対策推進」の重点目標

『自分の安全は自分で守る』

- ・現在の自分の体力や状態を自覚し意識しましょう。
- ・誰も、個人差はあっても、皆高齢化していきます。



- ・安全は過信せず、先ず自覚に基づいた動作がポイントです。
- ・危険予知活動、危険の見える化、正しい作業方法、安全教育・研修と安全意識の啓発を全員へ周知。

事故ゼロで地域から信頼されるシルバーへ

- ・事故が起きた時に失うもの、求められるもの



- ・健康、お金、時間、自由を失い、信用・信頼をなくします。
- ・会員、家族、発注者等に対する説明責任や、刑事上・行政上・民事上の責任や社会的な責任が生じます。

《目標》 “危険ゼロ”

- ・職場や作業に潜む全ての危険を発見・把握・解決。
- ・事故が起きる前に危険の芽を摘む。
- ・事故原因の9割は防げる事故「人為的ミス」が原因です。

シニアパソコン教室は平成21年に開講し16年間にわたって、シニア世代のIT化に貢献してきました。現在は13名の会員が講師としてパソコンのワードやエクセル、スマホ、デジカメなど気軽に楽しく学べる講座を実施しています。

あがたの森教室では講師の西山久美子会員がワード研修を担当し、パソコン画面を指差しながら丁寧に分かりやすい指導。初級者に人気の講座です。

会員の皆さんもパソコンを始めてみませんか。楽しいですよ!!



あがたの森教室 講師の西山久美子会員

ルポ
ココにも
シルバー
楽しく
学ぼう!!
シニアパソコン教室

新入会員の声



塙 正文さん
(松原)

中学生の学習の場を見守り

私は長年、福祉・相談の仕事に従事してきました。

年齢を考え昨年度末全ての仕事を辞退しましたが、それでも身心がまだ動けるうちは何かこれまでとは異なる仕事をやってみようと考え直し、シルバー人材センター

に本年2月に入会しました。

入会後はゆとり仕事を探そうと考えていましたが、センターから公民館での中学生の学習の場（フリースペース）の見守りの仕事を紹介され5月からやり始めました。

今のところ利用人数は少ないのですが、一生懸命勉学に励む姿は、新鮮で初々しさを感じています。自身や家族の健康状態の変化により、いつまで続けられるかわかりませんが、可能な限り続けようと思っています。

シルバーまつり個人出店会員を募集

11月初旬に開催予定のシルバーまつりへの個人出店者を募集します。自家栽培の野菜や果樹、木工芸や趣味の手づくり品などを出品しませんか。

申込をお待ちしています。

- 出店申込 会報と一緒に配布の申込書を
FAX39-7788または郵送
- 申込締切 10月17日(予定)
- 出店料 無料(テント・机・椅子をご用意します)



～新職員の紹介～

4月にセンターに入所した新職員です。よろしくお願いいたします。

- ◎ 塩田 哲大(業務担当 剪定等を担当)
- ◎ 渡邊 和美(業務担当 民間、筆耕等を担当)

お悔やみ申し上げます

三沢 美智江 さん(芳川)
輪湖 やす子 さん(梓川)
逸見 真志 さん(島内)
大丸 ちほる さん(庄内)
牛山 和也 さん(鎌田)
安田 憲司 さん(庄内)
※7年1月～6月にお亡くなり
になられた方です。



することが出来るアプリです。
現在752名の会員がすでに登録済みで、フリーランス法や包括的契約に対応するため一層のデジタル化が求められています。
登録会員数の目標は1000人です。未登録の方はお気軽に事務局までご連絡ください。登録のサポートをいたします。

スマイルトスマイル登録を

会員専用サイト **Smile to Smile** は、スマホから配分金明細や就業情報、就業依頼などの情報を確認

安全就業には健康な体と、良好な体調管理が欠かせません。普段から健康だ、どこも悪くないと思われている方も、特定検診などを利用して、年に一度は健康診断を受けて、健康の維持に努めましょう。



健康診断を受けましょう

今後の予定

- 一斉奉仕活動
8月下旬～10月中旬(各地区)
- 第18回シルバーまつり
11月初旬予定(センター広場)
- 地区懇談会
11月下旬～12月中旬(各地区)

お知らせ コーナー

●配分金支払日●

6月分	7月15日(火)
7月分	8月15日(金)
8月分	9月16日(火)
9月分	10月15日(水)
10月分	11月17日(月)
11月分	12月15日(月)
12月分	1月16日(金)

あとがき

今号では、表紙の写真と1ページ半の紙面を割いて安全・適正就業をアピールしました。

そこで、なぜ事故が増えたのか、なぜ事故が減らないのか?自分なりに分析してみました。

●加齢による身体能力の低下
「反射が遅く、注意しても間に合わないことがある」
●「慣れ」「油断」が関連
「ベテランほどこれくらい大丈夫」の自信過剰による

●KYTが形骸化
「指差呼称や打合せ等が義務化で本気度が落ちていいる」
これらをどうすれば意識が変わるか?…考えてみました

◎体験型KYTとミニ演習
「事故の再現演習とヒヤリハット感の体験」
◎週替わり安全キャプテン制度の実施

「安全役を週替わりで交代」これらを取り入れて事故の軽減を図ればどうでしょう。
健康・安全第一で作業事故を無くしましょう。

(会報編集委員長 市川豊春)